

平成25年度

埋蔵文化財調査年報

－ 国庫補助事業対象分 －

2015年3月

太子町教育委員会

平成25年度

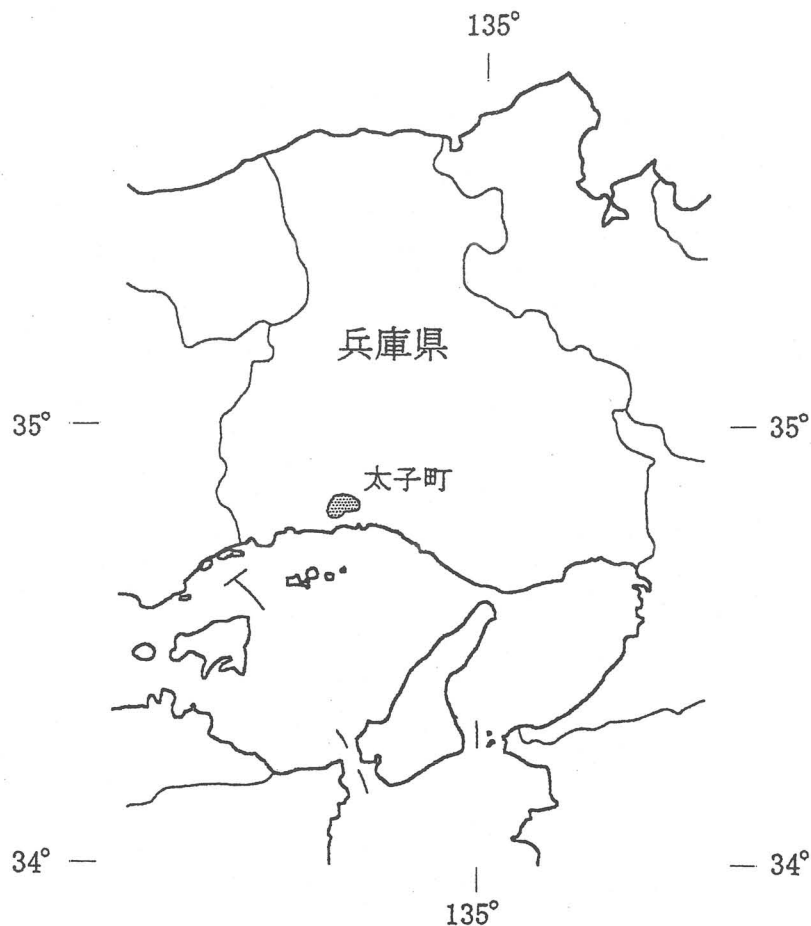
埋蔵文化財調査年報

2015年3月

太子町教育委員会

例 言

1. 本報告書は、平成25年度に実施した埋蔵文化財調査のうち、国庫補助事業として実施した試掘確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課文化財係海野浩幸が担当した。
3. 本報告書の執筆・編集は、社会教育課文化財係海野浩幸が行った。
4. 遺物実測・トレース等の整理作業は、改発法子・森崎敦子が行った。
5. 調査位置図は、太子町作成1/25,000「太子町全図」（平成9年）を1/30,000に縮小して、各遺跡のトレンチ配置図は、太子町作成1/2,500の地図を使用した。
6. 本報告書の示す標高は、T・Pを基準とし、方位は座標北を示す。
7. 本報告書で用いた経緯度は、世界測地系を基準とした。
8. 遺物実測図の断面は、須恵器は白抜きで、陶磁器は斜線でそれぞれ示した。
9. 本報告書に使用した図面・写真は、太子町教育委員会が保管している。



第1図 太子町位置図

調査体制

【平成25年度】

事務局

教育長 寺田寛文

教育次長 神南隆司

社会教育課長 玉田正典

同 係長 坂本敏美

同 係長 岡田ひとみ

同 係長 蔵屋一彦

同 主査 岩本純平

文化財担当

社会教育係長 田村三千夫

同 主査 三村修次

同 主査 海野浩幸



写真1 調査風景（佐田構居跡）

目次

例言

調査体制

I 平成25年度調査概要	1
平成25年度調査概要	
矢田部南遺跡	3
馬場遺跡	5
東南字羽子田	7
佐田構居跡	9
阿曾南遺跡	11
城山遺跡	14
矢田部南遺跡	17
東南字後田	19
II 報告書抄録	22

挿図目次

第1図 太子町位置図	
第2図 平成25年度調査位置図	2
矢田部南遺跡	
第3図 トレンチ配置図	3
第4図 土層断面図	4
馬場遺跡	
第5図 試掘坪配置図	5
第6図 土層断面図	6
東南字羽子田	
第7図 トレンチ配置図	7
第8図 土層断面図	8
佐田構居跡	
第9図 トレンチ配置図	9
第10図 土層断面	10
第11図 表採遺物	10

阿曾南遺跡

第12図 トレンチ配置図	11
第13図 土層断面図(1)	12
第14図 土層断面図(2)	13
第15図 出土遺物	13

城山遺跡

第16図 トレンチ配置図	14
第17図 土層断面図(1)	15
第18図 土層断面図(2)	16
第19図 出土遺物	16

矢田部南遺跡

第20図 試掘坪配置図	17
第21図 土層断面図	18

東南字後田

第22図 トレンチ配置図	19
第23図 土層断面図	20

写真目次

写真1 調査風景（佐田構居跡）

矢田部南遺跡

写真2 1 トレンチ	4
写真3 2 トレンチ	4
写真4 3 トレンチ	4
写真5 4 トレンチ	4
写真6 5 トレンチ	4
写真7 6 トレンチ	4
写真8 7 トレンチ	4

馬場遺跡

写真9 1 坪	6
写真10 2 坪	6
写真11 3 坪	6
写真12 4 坪	6
写真13 5 坪	6

写真14	6坪	6
写真15	7坪	6

東南字羽子田

写真16	1トレンチ	8
写真17	2トレンチ	8
写真18	3トレンチ	8

佐田構居跡

写真19	1トレンチ	10
写真20	2トレンチ	10
写真21	3トレンチ	10
写真22	4トレンチ	10
写真23	5トレンチ	10
写真24	6トレンチ	10
写真25	7トレンチ	10

阿曾南遺跡

写真26	1トレンチ (北より)	13
写真27	2トレンチ (北より)	13
写真28	3トレンチ (西より)	13
写真29	4トレンチ (西より)	13
写真30	5トレンチ (南より)	13
写真31	6トレンチ (北より)	13

城山遺跡

写真32	1トレンチ	16
写真33	2トレンチ	16
写真34	3トレンチ	16
写真35	4トレンチ	16
写真36	5トレンチ	16
写真37	6トレンチ	16
写真38	7トレンチ	16
写真39	8トレンチ	16
写真40	9トレンチ	16
写真41	10トレンチ	16
写真42	11トレンチ	16
写真43	12トレンチ	16
写真44	13トレンチ	16

矢田部南遺跡

写真45	1坪	18
写真46	2坪	18
写真47	3坪	18
写真48	4坪	18
写真49	5坪	18
写真50	6坪	18
写真51	7坪	18

東南字後田

写真52	1トレンチ	20
写真53	2トレンチ	20
写真54	3トレンチ	20
写真55	4トレンチ	20
写真56	5トレンチ	20

表目次

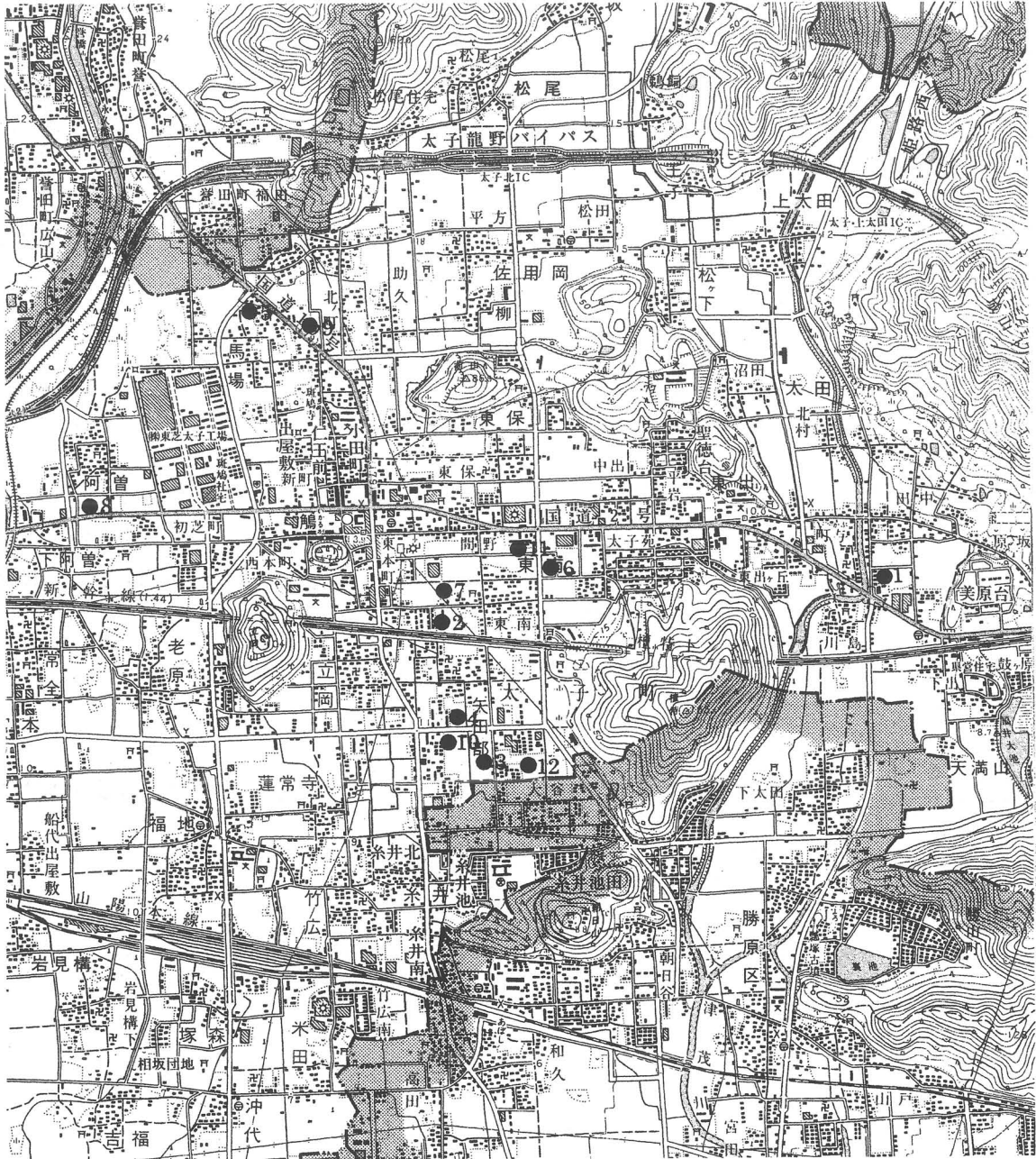
表1	平成25年度埋蔵文化財調査一覧表	1
表2	遺物観察表	21
表3	平成25年度発掘届出（法93条）一覧表	21

I 平成25年度調査概要

平成25年度では、民間の開発事業に伴う試掘確認調査として12件を実施し、そのうち、8件の試掘確認調査を国庫補助事業として実施した。

表1 平成25年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	事業内容	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	備考
1	田中遺跡	太田字地田	宅地造成 町単独事業	1,456	25.08	平成25年 4月22日 ～ 4月30日	未掲載
2	東南遺跡	東南字田屋	宅地造成 町単独事業	3,356.78	71.19	平成25年 4月24日 ～ 5月10日	未掲載
3	矢田部南遺跡	矢田部字糯田	宅地造成 町単独事業	1,595.51	24.26	平成25年 5月20日 ～ 5月30日	未掲載
4	矢田部南遺跡	東南字糯田	宅地造成 国庫補助事業	2,089.51	56.12	平成25年 5月27日 ～ 6月10日	本書掲載
5	馬場遺跡	馬場字樋ノ上	宅地造成 国庫補助事業	2,708.33	42.25	平成25年 6月17日 ～ 6月24日	本書掲載
6	東南字羽子田	東南字羽子田	宅地造成 国庫補助事業	1,413.05	24.02	平成25年 6月20日 ～ 6月28日	本書掲載
7	佐田構居跡	東南字佐田	宅地造成 国庫補助事業	1,643.84	42.14	平成25年 6月26日 ～ 7月5日	本書掲載
8	阿曾南遺跡	阿曾字柿ヶ坪	資材置場造成 国庫補助事業	2,626	101.20	平成25年 8月19日 ～ 9月20日	本書掲載
9	城山遺跡	鵜字城山前	宅地造成 国庫補助事業	4,078	86.66	平成25年10月 7日 ～10月21日	本書掲載
10	矢田部南遺跡	矢田部字大見度	宅地造成 国庫補助事業	2,873.59	28.12	平成25年12月 5日 ～12月13日	本書掲載
11	東南字後田	東南字後田	宅地造成 国庫補助事業	2,016.69	40	平成26年 2月17日 ～ 2月28日	本書掲載
12	矢田部南遺跡	矢田部字書写田	宅地造成 町単独事業	1,519.55	50.10	平成26年 3月24日 ～ 3月31日	未掲載



第2図 平成25年度調査位置図 (1/30,000)

矢田部南遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町矢田部字糯田179番1

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年5月27日～6月10日

5. 調査面積

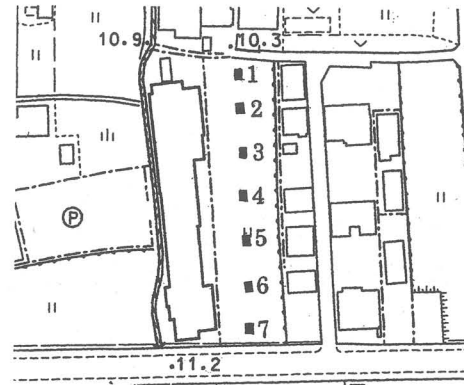
56.12㎡

6. 記録作成

土層実測図（1/20）、トレンチ配置図（1/500）

写真記録（デジタルカメラ撮影）

北緯（34度49分32秒）、東経（134度35分0秒）



第3図 トレンチ配置図（1/2,500）

7. 調査に至る経過

太子町矢田部字糯田423番他3筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である矢田部南遺跡の北西側に近接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高8.50m前後を測る休耕田である。

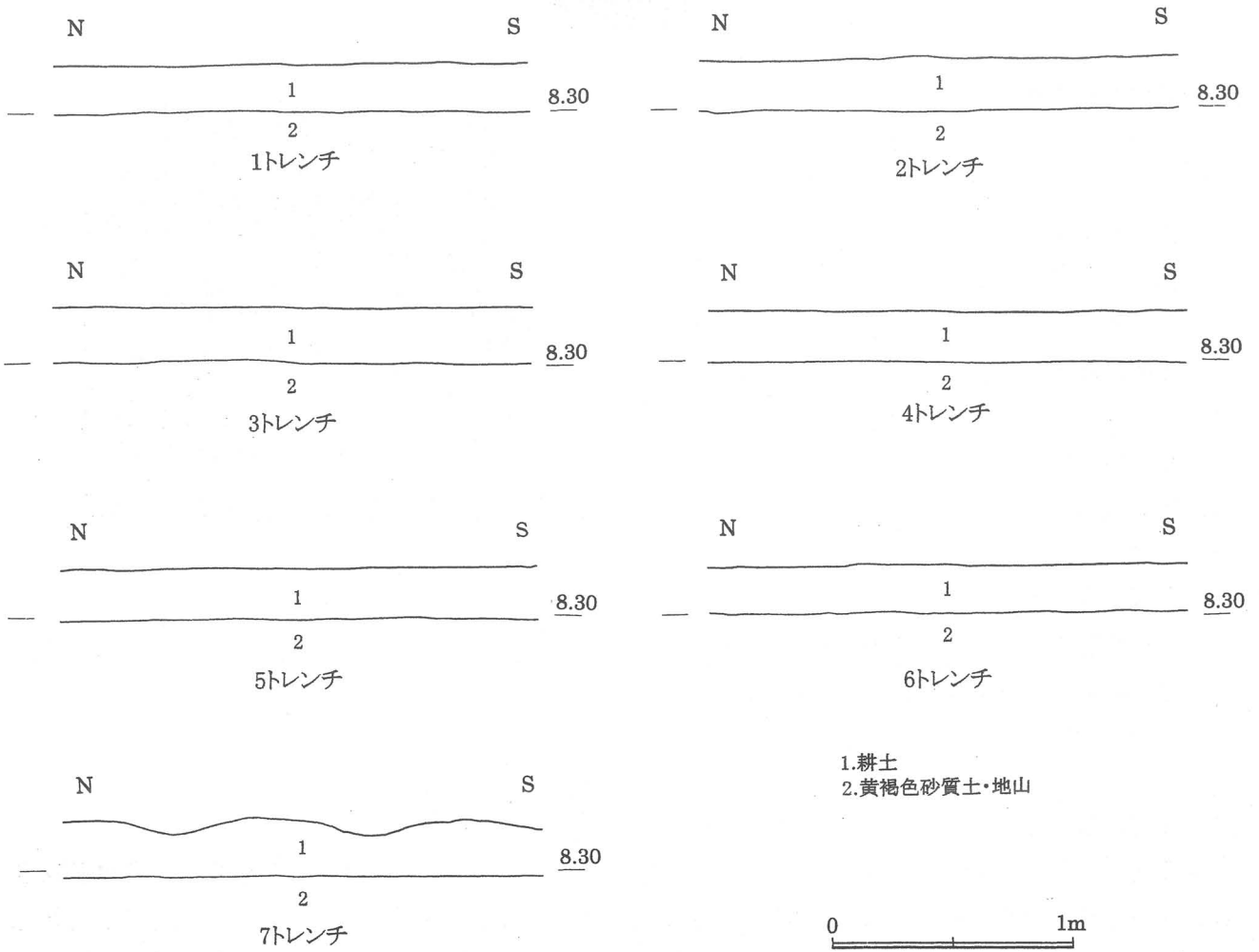
8. 調査の概要

調査は、2×3mのトレンチを7箇所設定して実施した。

調査地の基本土層は、耕土(18～24cm)直下で明褐色砂質土・地山となっている。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

9. まとめ

調査の結果、矢田部南遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



第4図 土層断面図

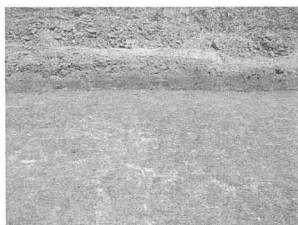


写真2 1トレンチ

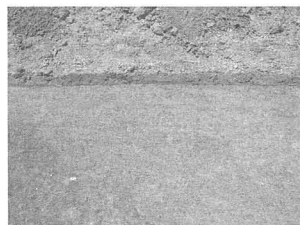


写真3 2トレンチ

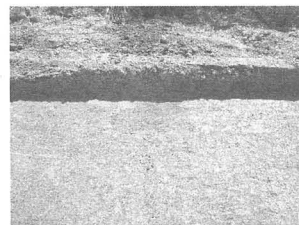


写真4 3トレンチ

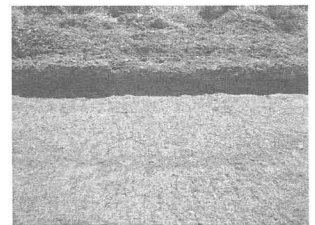


写真5 4トレンチ



写真6 5トレンチ

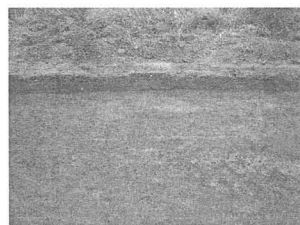


写真7 6トレンチ



写真8 7トレンチ

馬場遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鷗字八幡分927番1 他12筆
同 馬場字樋ノ上259番5の一部

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年6月17日～6月24日

5. 調査面積

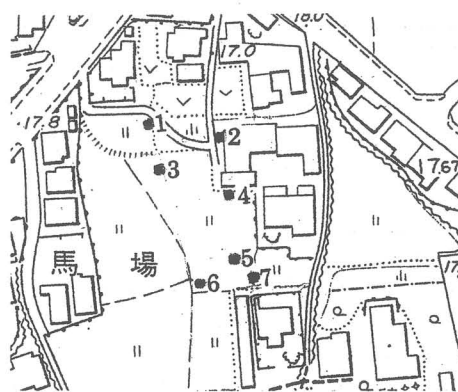
43.86㎡

6. 記録作成

土層実測図 (1/20)、トレンチ配置図 (1/250)

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34度50分29秒)、東経 (134度34分22秒)



第5図 試掘坪配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町鷗字八幡分927番1 他12筆及び馬場字樋ノ上259番5の一部において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である馬場遺跡の北西端部に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高16.40m～17.20m前後を測る水田と一部宅地である。

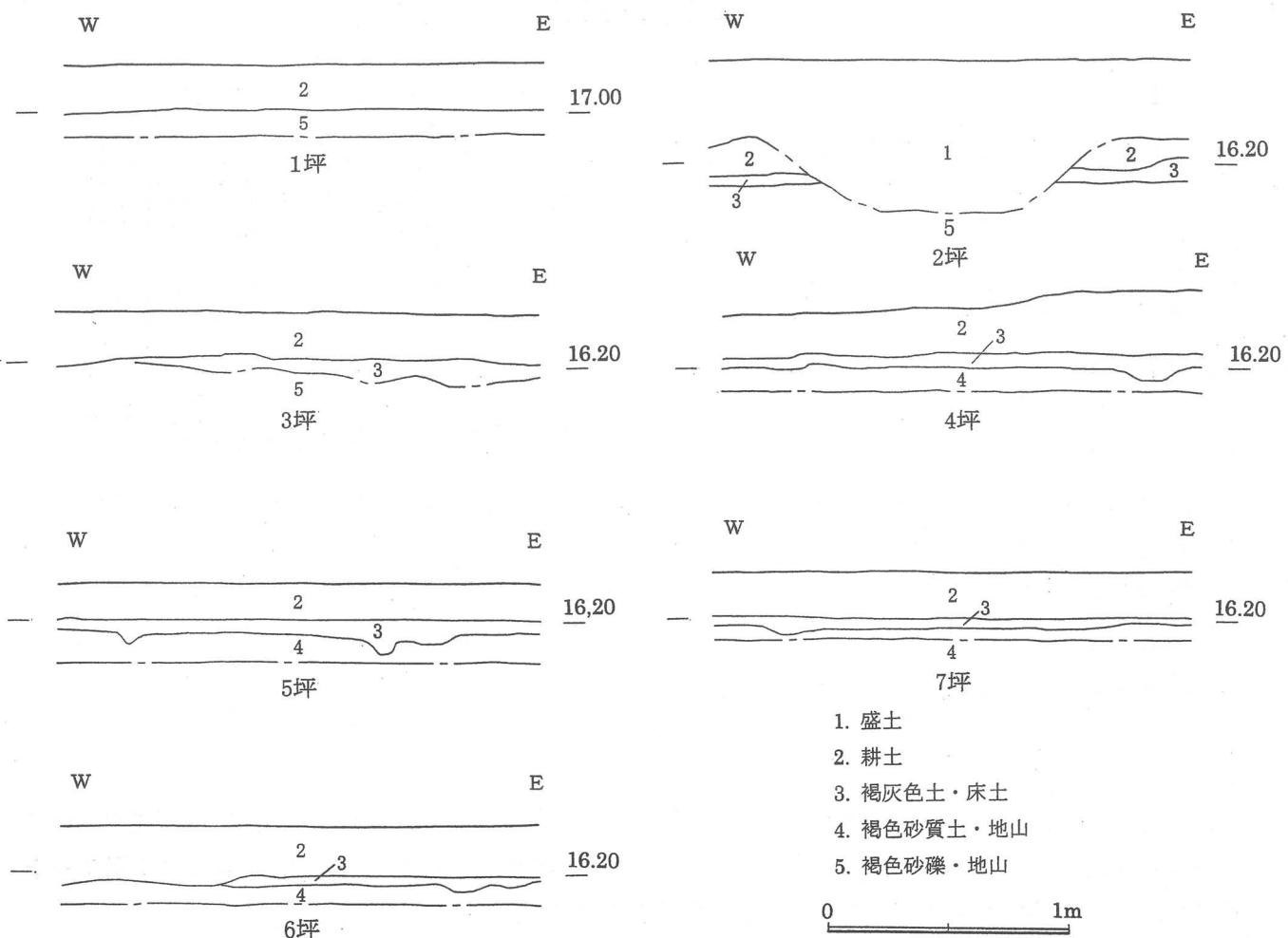
8. 調査の概要

調査は、2×2mの試掘坪7箇所を設定して実施した。

調査地の基本土層は、上層から耕土(16～22cm)、褐灰色土・床土(4～8cm)で褐色砂質土ないしは褐色砂礫の地山となっている。各試掘坪とも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

9. まとめ

調査の結果、馬場遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、遺物の出土もなかった。今回の調査地点は、後世の耕作等による遺構面の削平を受けていると考えられる。



第6図 土層断面図

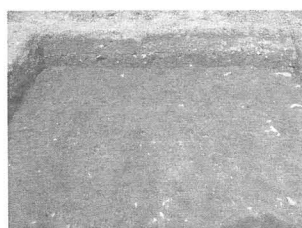


写真9 1坪

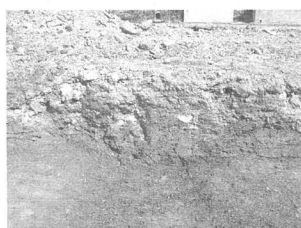


写真10 2坪

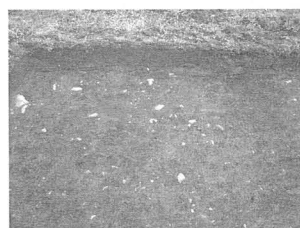


写真11 3坪



写真12 4坪

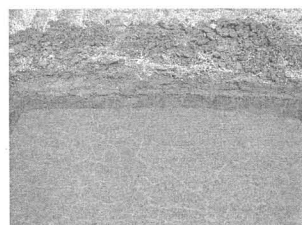


写真13 5坪

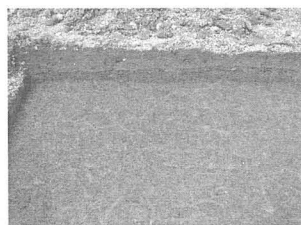


写真14 6坪

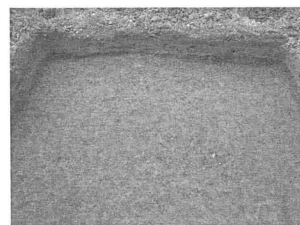


写真15 7坪

羽子田遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東南字羽子田371番 他1筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年6月20日～6月28日

5. 調査面積

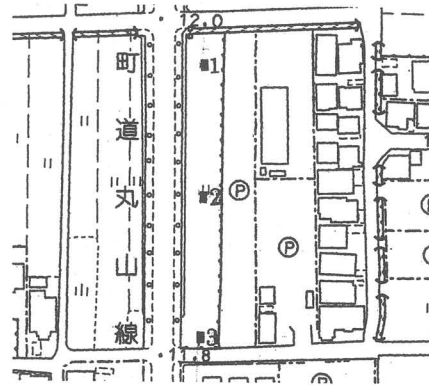
24.02㎡

6. 記録作成

土層実測図(1/20)、トレンチ配置図(1/500)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34度49分54秒)、東経(134度35分12秒)



第7図 トレンチ配置図(1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町東南字羽子田423番他3筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である佐田構居跡の東方に位地することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高8.50m前後を測る休耕田である。

8. 調査の概要

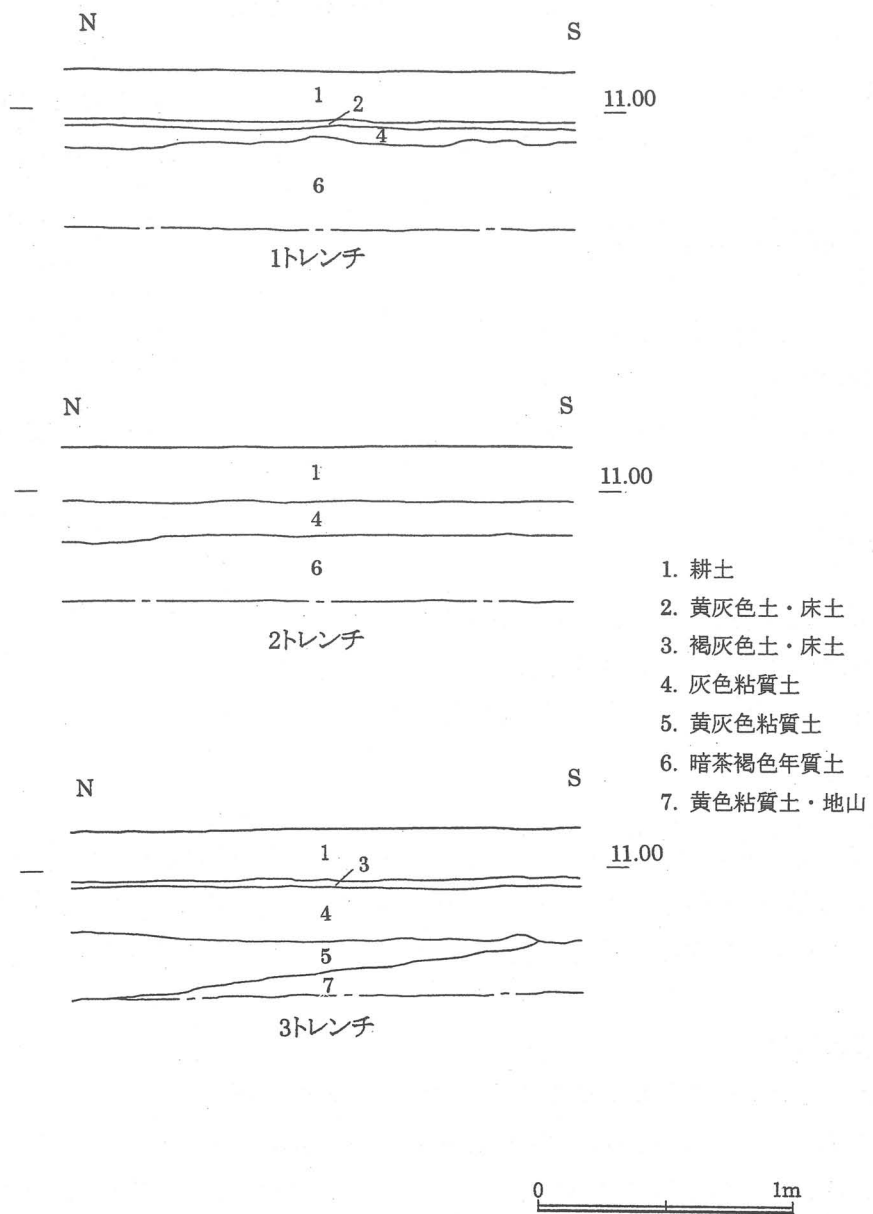
調査は、2×4mのトレンチを3箇所設定して実施した。

調査地の基本土層は北側の1・2トレンチでは上層から、耕土(18～24cm)、黄色土・床土(2～4cm)、明灰色土(8～12cm)で暗茶褐色粘質土となっている。暗茶褐色粘質土は、ボーリングステッキによる検索の結果、1m以上の厚みであることが確認された。南端の3トレンチでは耕土(18cm)、黄色土・床土(2cm)、明灰色土(8～12cm)、淡灰色砂質土(24cm)で黄色粘質土・地山となっている。土層の観察から地山面は、北側へ落ち込んでいる状況が観察された。

各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

9. まとめ

調査の結果、佐田構居跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。また、土層の観察から、調査地一帯は低湿地状の地形であったと推測される。



第8図 土層断面図



写真16 1トレンチ

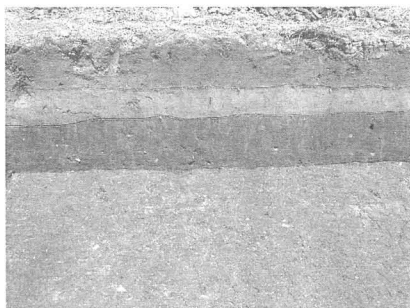


写真17 2トレンチ

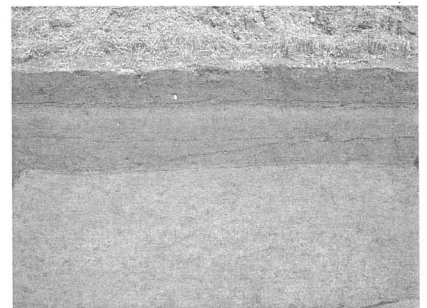


写真18 3トレンチ

佐田構居跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東南字佐田61番1 他11筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年6月26日～7月5日

5. 調査面積

42.14㎡

6. 記録作成

土層実測図(1/20)、遺物実測図(1/1)、トレンチ配置図(1/500)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34度49分51秒)、東経(134度34分56秒)



第9図 トレンチ配置図(1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町東南字佐田423番他3筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である佐田構居跡の南側に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高8.50m前後を測る休耕田及び畑である。

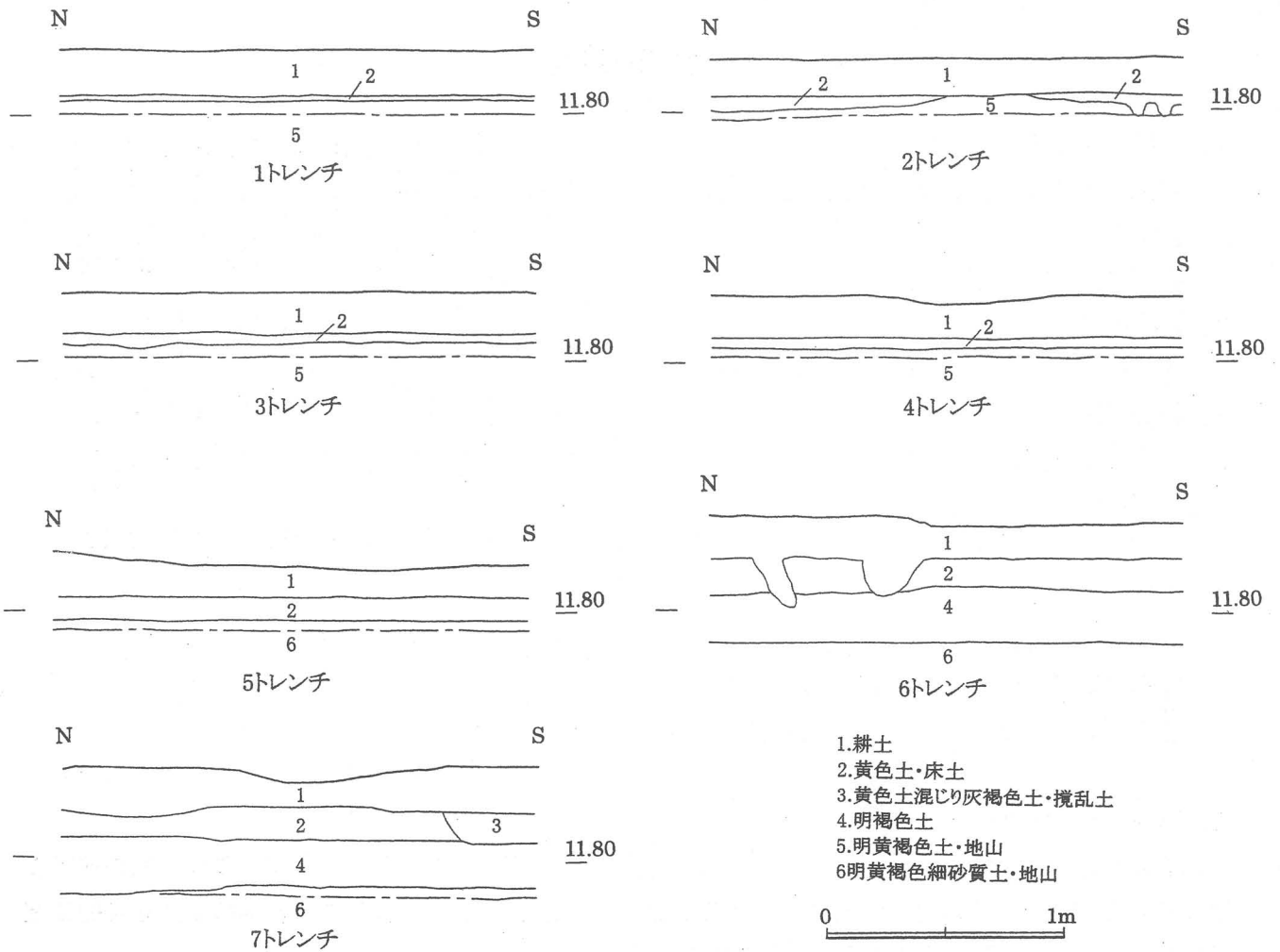
8. 調査の概要

調査は、2×4mのトレンチを7箇所設定して実施した。

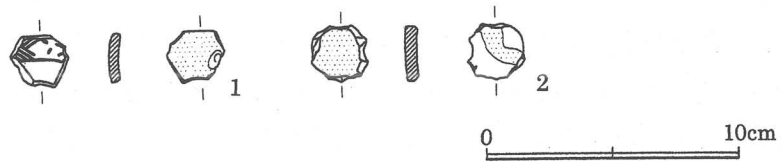
調査地の基本土層は上層から、耕土(18～24cm)、黄灰色土・床土(4～12cm)で、明褐色土・地山となっている。南端部の畑に設定した6・7トレンチでは、耕土(20cm)、黄灰色土・床土(8cm)、明褐色土・畑造成土(30cm)で明褐色土・地山となっている。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土はなかったが、耕土面で近世磁器を転用した面子2点を表面採取した。

9. まとめ

調査の結果、佐田構居跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



第10図 土層断面図



第11図 表採遺物



写真19 1トレンチ



写真20 2トレンチ

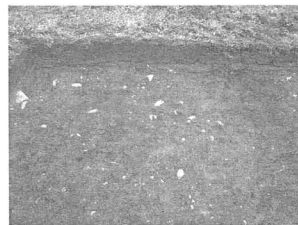


写真21 3トレンチ



写真22 4トレンチ

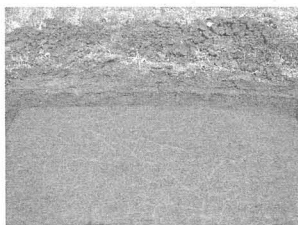


写真23 5トレンチ

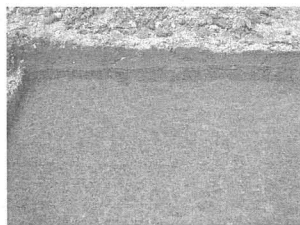


写真24 6トレンチ

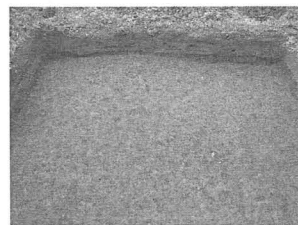


写真25 7トレンチ

阿曾南遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町阿曾字柿ヶ坪124番1 他3筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年8月19日～9月20日

5. 調査面積

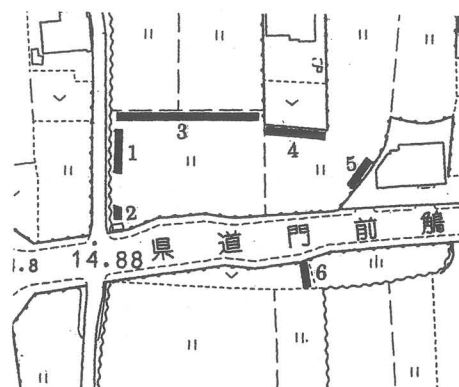
101.21㎡

6. 記録作成

土層実測図 (1/20)、遺物実測図 (1/1)、トレンチ配置図 (1/500)

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34度50分2秒)、東経 (134度33分54秒)



第12図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町阿曾字柿ヶ坪423番他3筆において資材置場建設工事が計画され、建設予定地は周知の埋蔵文化財である阿曾南遺跡の包蔵地内に位地することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高13.60m前後を測る休耕田である。

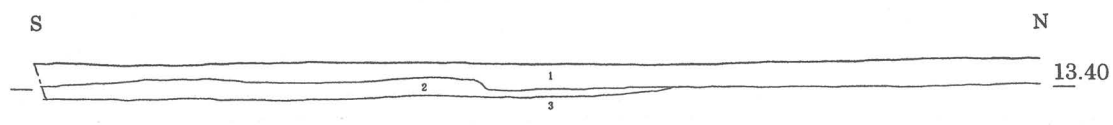
8. 調査の概要

調査は、1×8mのトレンチ(1トレンチ)、1×3mのトレンチ(2トレンチ)、1×40mのトレンチ(3トレンチ)、1×8mのトレンチ(4トレンチ)、1×7mのトレンチ(5トレンチ)、1×6mのトレンチ(6トレンチ)の計6箇所を設定して実施した。

調査地の基本土層は、1トレンチでは上層から耕土(12～20cm)、灰褐色土・床土(8～15cm)で褐色砂礫・地山となっている。2トレンチでは上層から耕土(18cm)、灰褐色土・床土(10cm)で明褐色砂質土・地山となっている。3トレンチでは上層から耕土(16～24cm)、灰褐色土・床土(4～10cm)、明褐色土(6～8cm)、褐灰色土(6～14cm)で明褐色砂質土・地山となっているが、トレンチ西端部では褐色砂礫層となっている。4トレンチでは上層から耕土(16～18cm)、灰褐色土・床土(6～10cm)、褐灰色土(10～20cm)、明灰褐色土(10～12cm)、明褐灰色土(8～16cm)で明褐色土・地山となっている。5トレンチでは上層から耕土(20～24cm)、灰褐色土・床土(6～10cm)で明褐色土・地山となっている。6トレンチでは上層から耕土(18～20cm)、灰褐色土・床土(12～16cm)で礫混じり明褐色土・地山となっている。各トレンチとも遺構・遺物包含層は検出されなかったが、3トレンチ及び5トレンチの攪乱層より土師器・須恵器・輸入磁器片が若干出土した。

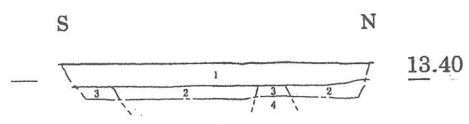
9. まとめ

調査の結果、阿曾南遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されなかったが、攪乱土より若干の遺物が出土していることから、今回の調査地点は同遺跡の東の縁辺部に位置すると考えられる。



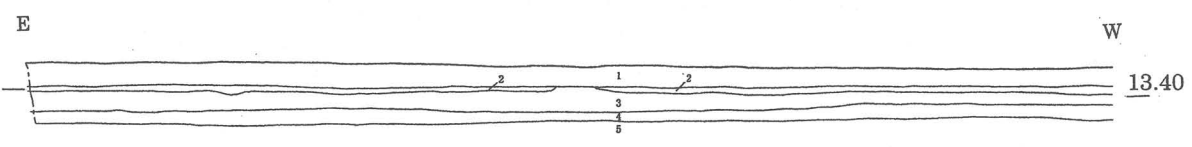
1トレンチ

- 1. 耕土
- 2. 灰褐色土・床土
- 3. 褐色砂レキ・地山



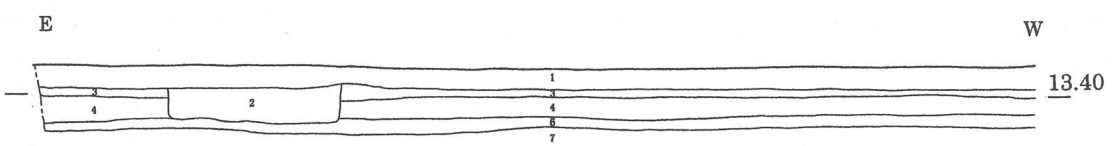
2トレンチ

- 1. 耕土
- 2. 攪乱層
- 3. 灰褐色土・床土
- 4. 明褐色砂質土・地山



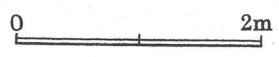
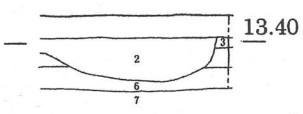
3トレンチ

- 1. 耕土
- 2. 灰褐色土・床土
- 3. 明褐色土
- 4. 褐灰色土
- 5. 明褐色土・地山
- 6. 褐色砂レキ

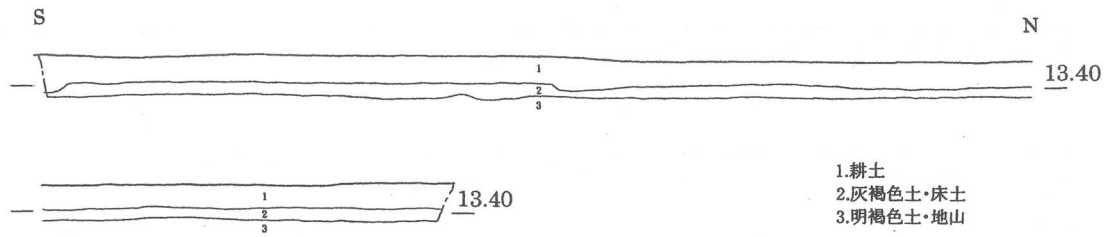


4トレンチ

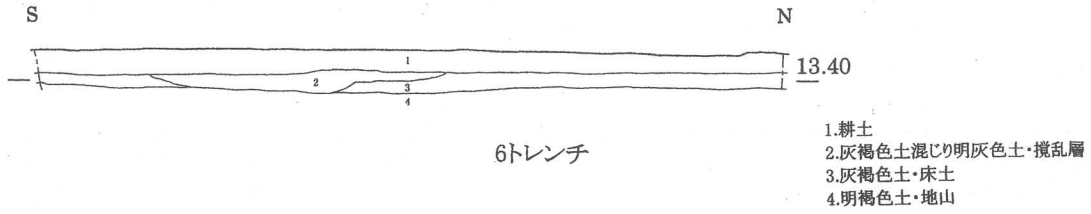
- 1. 耕土
- 2. 攪乱層
- 3. 灰褐色土・床土
- 4. 褐灰色土
- 5. 明褐色土
- 6. 明褐色土
- 7. 明褐色土・地山



第13図 土層断面図(1)



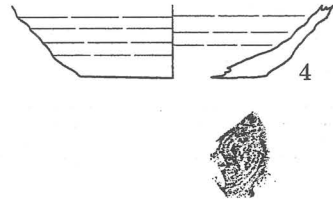
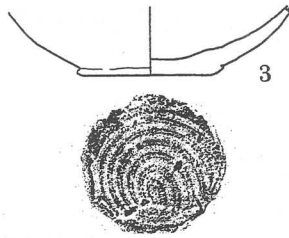
5トレンチ



6トレンチ



第14図 土層断面図(2)



第15図 出土遺物



写真26 1トレンチ (北より)



写真27 2トレンチ (北より)



写真28 3トレンチ (西より)



写真29 4トレンチ (西より)



写真30 5トレンチ (南より)



写真31 6トレンチ (北より)

城山遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鷗字城山前996番1 他

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年10月7日～10月21日

5. 調査面積

86.67㎡

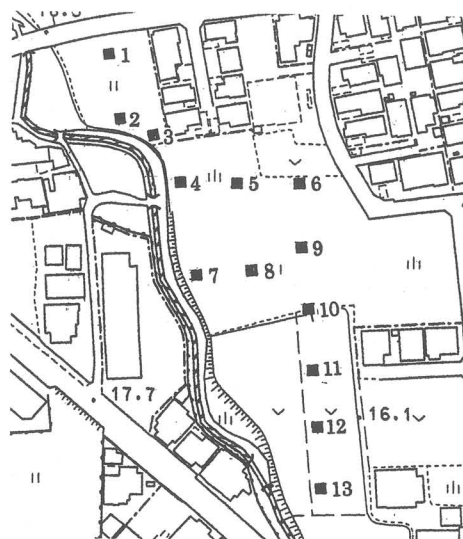
6. 記録作成

土層実測図（1/20）、遺物実測図（1/1）、

トレンチ配置図（1/500）

写真記録（デジタルカメラ撮影）

北緯（34度50分29秒）、東経（134度34分31秒）



第16図 トレンチ配置図（1/2,500）

7. 調査に至る経過

太子町鷗字城山前199番1他において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である城山遺跡の包蔵地内の南西端部に位地することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高16.20m前後を測る休耕地である。

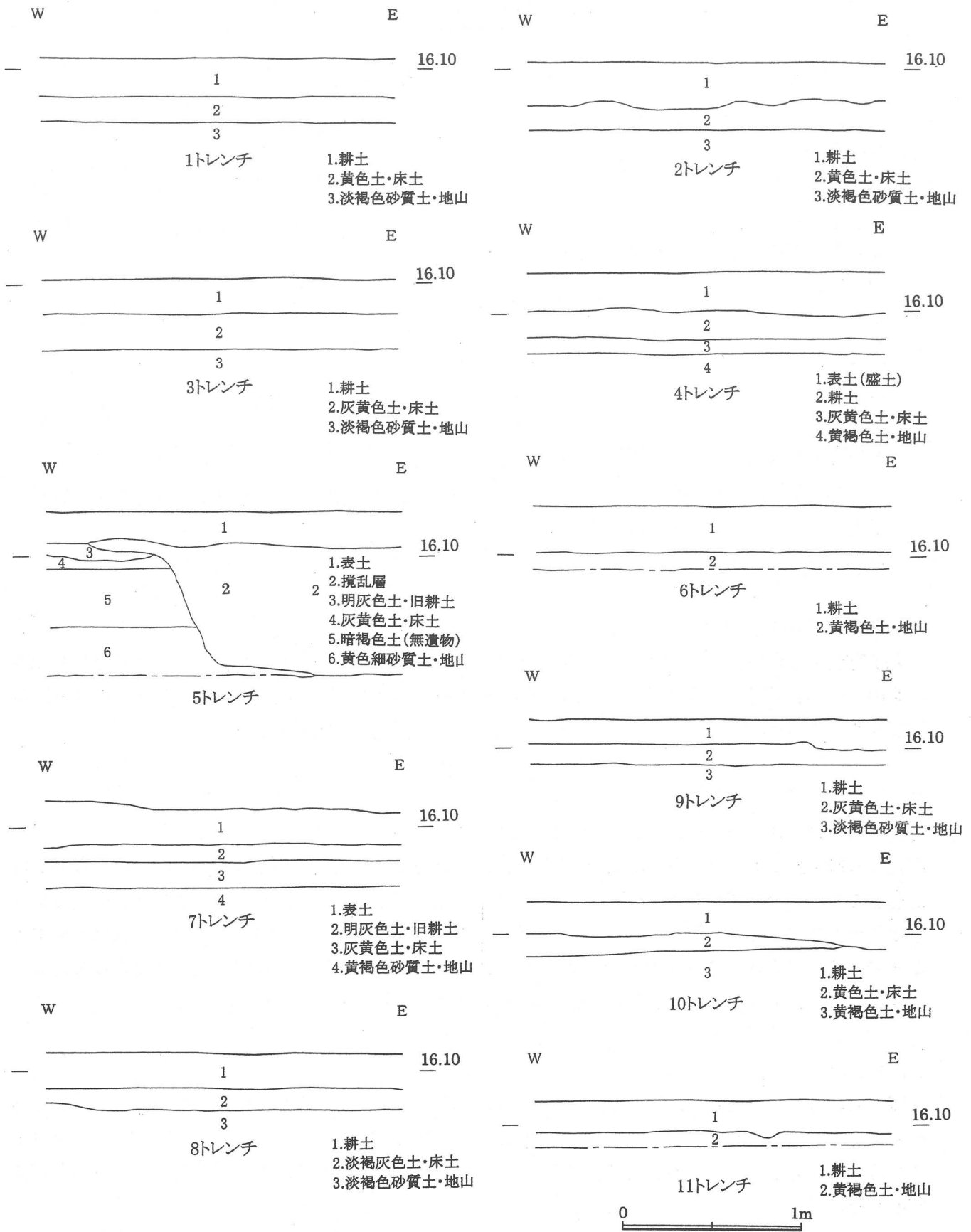
8. 調査の概要

調査は、2×3mのトレンチを13箇所設定して実施した。

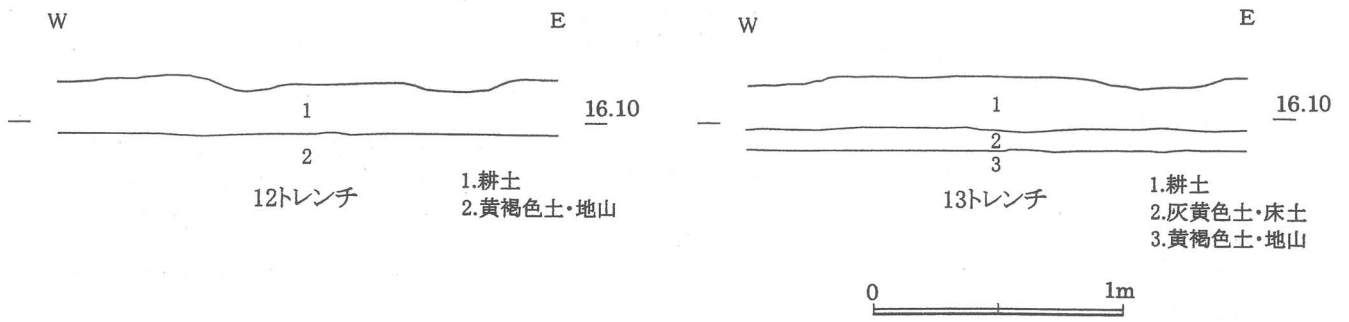
調査地の基本土層は、上層から耕土（18～24cm）、灰黄色土・床土（4～10cm）で明褐色砂質土ないし黄褐色土の地山となっているが、5トレンチでは大規模な攪乱層と、床土（8～12cm）の下層で無遺物の暗褐色土（20～30cm）の堆積がみられた。また、6・11・12トレンチでは耕土直下で黄褐色土・地山となっている。遺構は、6トレンチで直径16cm、深さ5cmを測るピット1基が検出されただけである。遺物も、1・3・4トレンチからあわせて3点の須恵器が出土しただけである。

9. まとめ

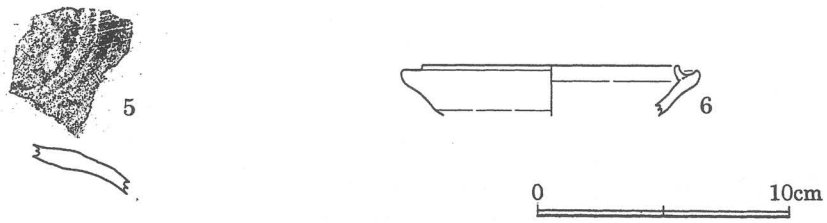
調査の結果、城山遺跡に関連する遺構・遺物は、6トレンチでピット1基と、1・3・4トレンチからあわせて3点の須恵器片を確認するにとどまった。調査地東及び南に設定したトレンチでは、耕土直下で地山面に到ることから、今回の調査地周辺は後世の耕作に伴う遺構面の削平を受けていることが確認された。



第 17 図 土層断面図(1)



第18図 土層断面図(2)



第19図 出土遺物

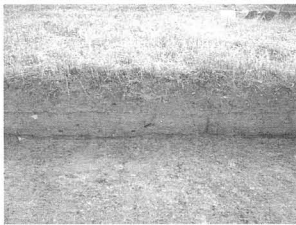


写真32 1トレンチ

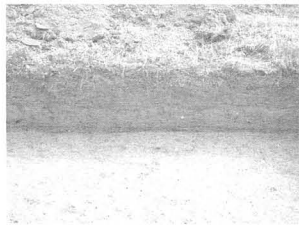


写真33 2トレンチ

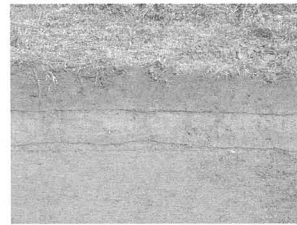


写真34 3トレンチ

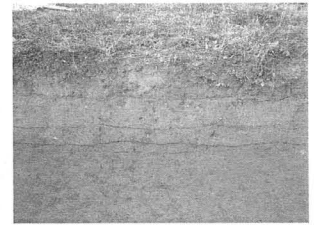


写真35 トレンチ



写真36 5トレンチ



写真37 6トレンチ



写真38 7トレンチ

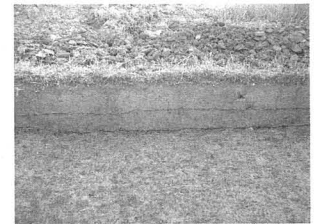


写真39 8トレンチ

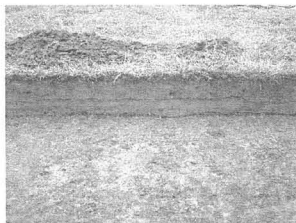


写真40 9トレンチ

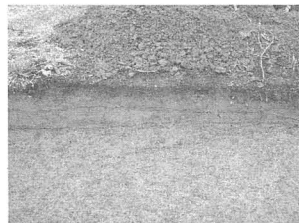


写真41 10トレンチ



写真42 11トレンチ



写真43 12トレンチ

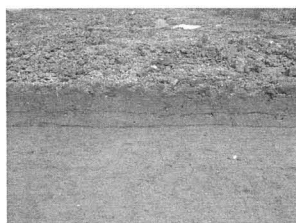


写真44 13トレンチ

矢田部南遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町矢田部字大見度135番5の一部 他3筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成25年12月5日～12月13日

5. 調査面積

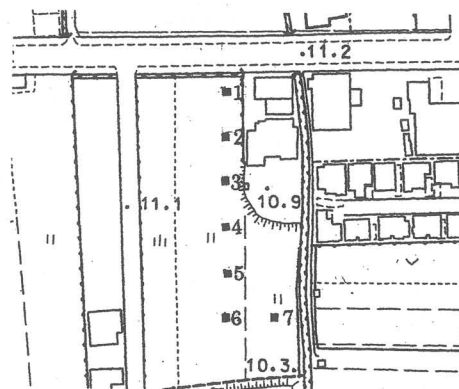
28.12㎡

6. 記録作成

土層実測図(1/20)、試掘坪配置図(1/500)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯(34度49分29秒)、東経(134度34分58秒)



第20図 試掘坪配置図(1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町矢田部字大見度135番5の一部他3筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である矢田部南遺跡の南西側に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高10.00m前後を測る水田である。

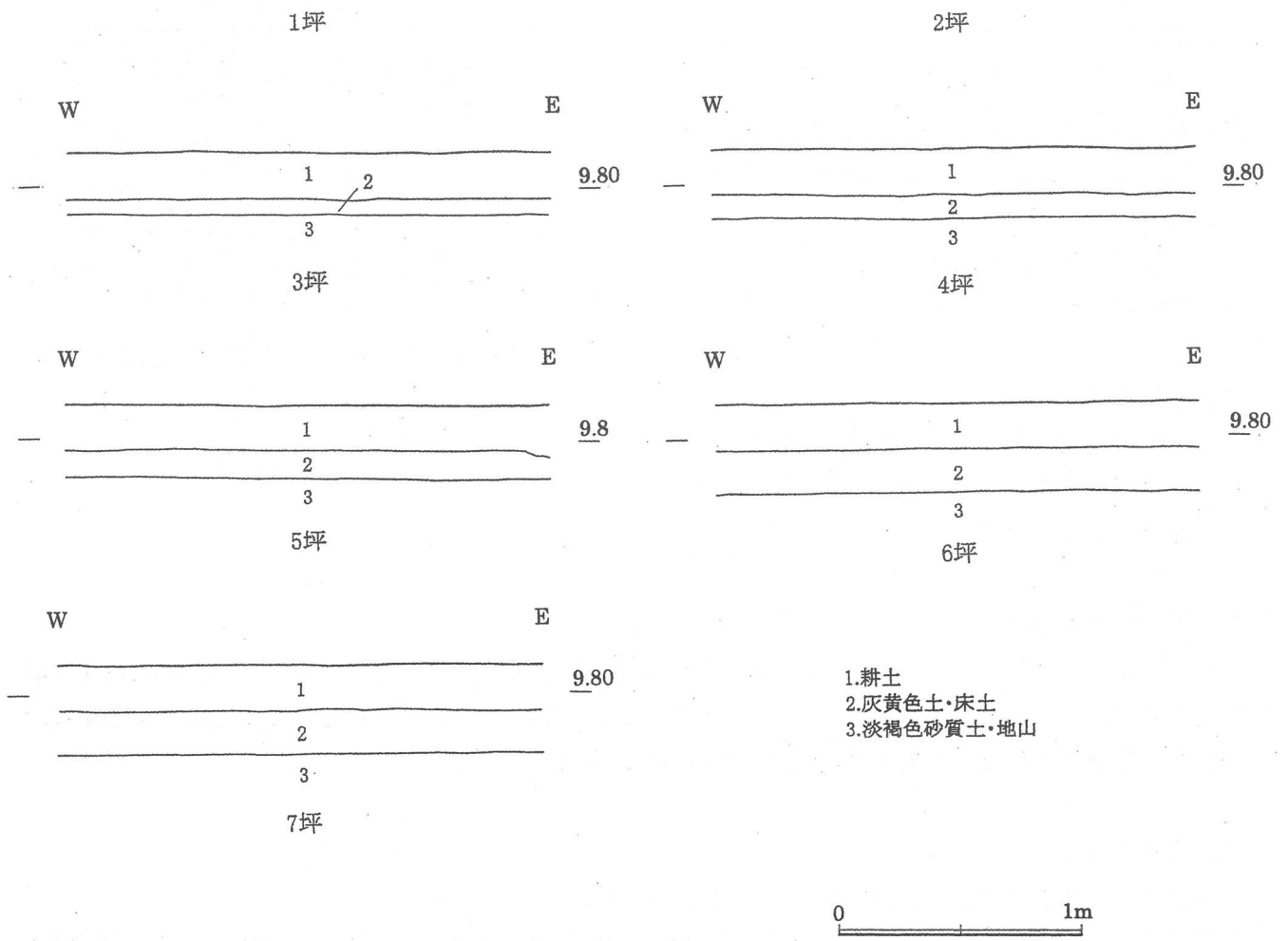
8. 調査の概要

調査は、2×2mの試掘坪を7箇所設定して実施した。

調査地の基本土層は上層から、耕土(18～20cm)、灰黄色土・床土(6～20cm)で淡褐色砂質土・地山となっている。地山面は、南方向にゆるく傾斜していることが確認された。各試掘坪とも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

9. まとめ

調査の結果、矢田部南遺跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで同遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



第21図 土層断面図

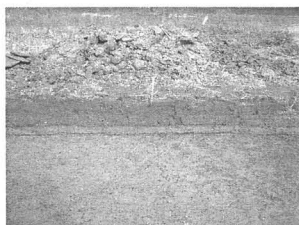


写真45 1坪



写真46 2坪



写真47 3坪

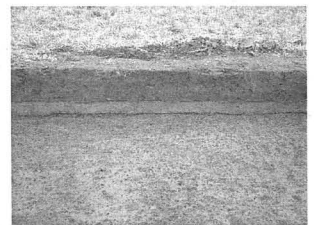


写真48 4坪

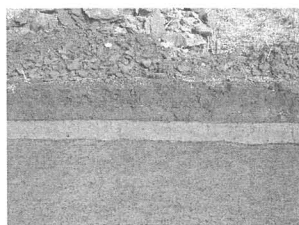


写真49 5坪



写真50 6坪



写真51 7坪

東南字後田遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東南字後田323番1 他2筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成26年2月17日～2月28日

5. 調査面積

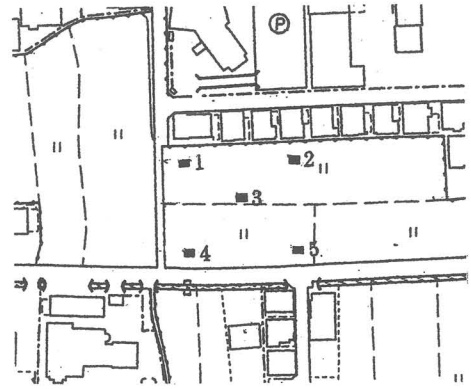
40㎡

6. 記録作成

土層実測図 (1/20)、試掘坪配置図 (1/200)

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34度49分56秒)、東経 (134度35分7秒)



第22図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町東南字後田323番1他2筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である東南遺跡及び佐田構居跡の東側に近接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に試掘調査を実施した。調査地の現況は、標高11.60m前後を測る水田である。

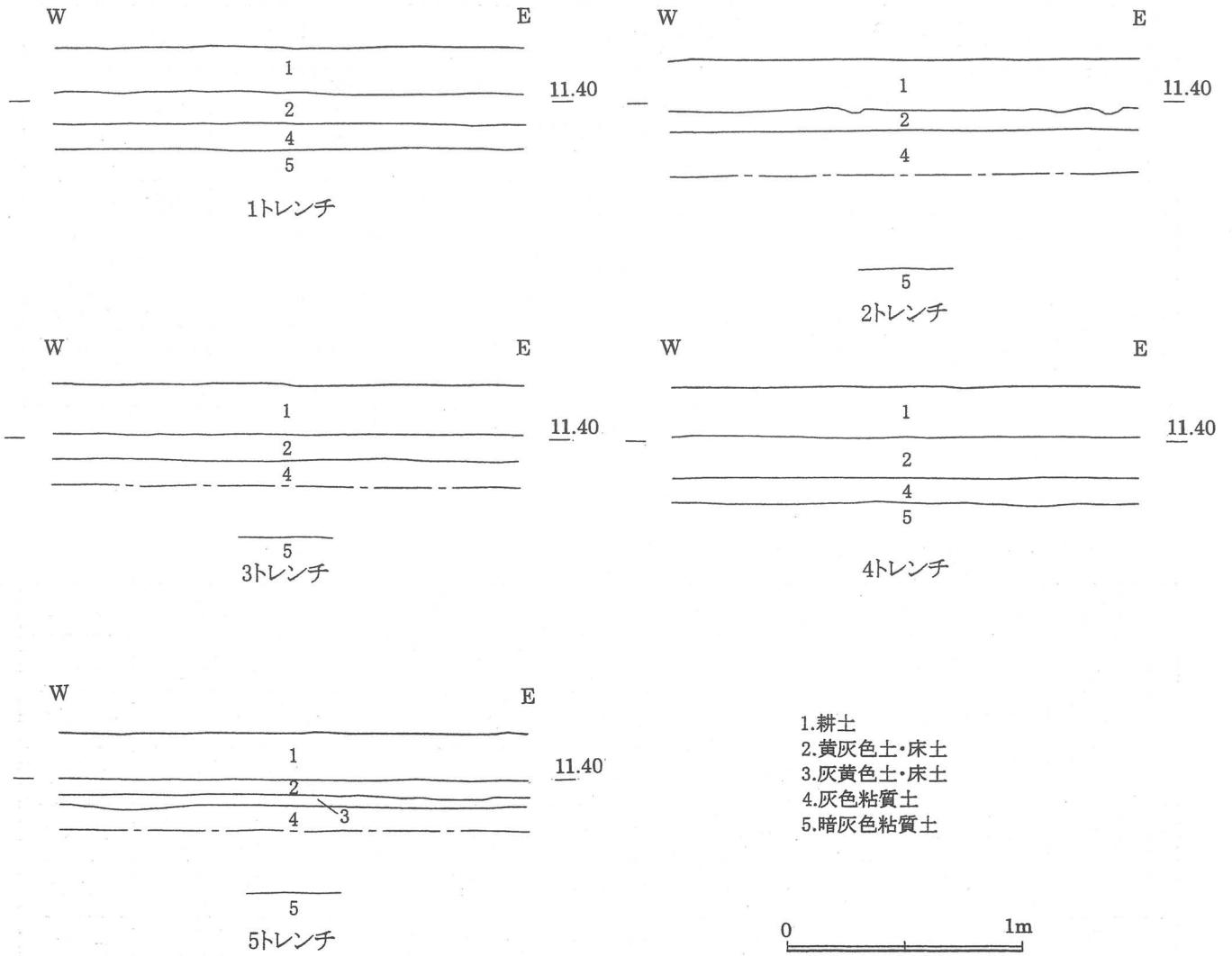
8. 調査の概要

調査は、2×4mのトレンチを5箇所設定して実施した。

調査地の基本土層は上層から、耕土(18～20cm)、黄灰色土・床土(6～12cm)、灰黄色土・床土(4cm)、灰色粘質土(10～54cm)で暗灰色粘質土となっている。灰色粘質土は、東側に向かって厚く堆積していることが確認された。各試掘坪とも遺構・遺物包含層は検出されず、遺物の出土もなかった。

9. まとめ

調査の結果、東南遺跡及び佐田構居跡に関連する遺構・遺物包含層は確認されず、今回の調査地点まで両遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。



第 23 図 土層断面図

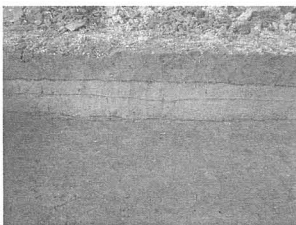


写真 52 1トレンチ



写真 53 2トレンチ



写真 54 3トレンチ

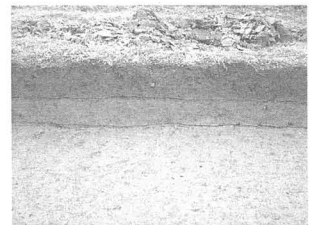


写真 55 4トレンチ



写真 56 5トレンチ

表2 遺物観察表

No.	遺跡名	出土地点	種別 器種	遺物番号	法 量 (cm)			焼成	色 調	胎 土	調 整
					口径	器高	底径				
1	佐田構居跡	表採	磁器 面子	1307-1-1	2.2 (長径)	0.4 (厚み)	2.0 (短径)	堅緻	外 10YR7.5/1 灰白 内 10YR7.5/1 灰白	密	外 施釉、染付 内 施釉
2	〃	〃	磁器 面子	1307-1-2	2.1 (長径)	0.4 (厚み)	2.1 (短径)	堅緻	外 2.5YR6/2 灰黄 内 10GY5/1 緑灰	密	外 施釉、染付 内 施釉
3	阿曾南遺跡	3トレンチ	須恵器 碗	1308-1-1		2.5	5.2	良好	外 N8/0 灰白 内 N8/0 灰白	細砂粒含む	外 回転ナデ、底部糸切 内 回転ナデ
4	〃	〃	須恵器 碗	1308-1-2		2.9	7.4	良好	外 10YR 灰白 内 N8/0 灰白	砂粒含む	外 回転ナデ、底部糸切 内 回転ナデ
5	城山遺跡	1 坪	須恵器 坏蓋	1309-1-1		1.5		良好	外 N7/0 灰白 内 N7/0 灰白	密	外 削り後ナデ 線刻 内 削り後ナデ
6	〃	6 坪	須恵器 坏身	1309-1-2	10.0	2.0		良好	外 N6/0 灰白 内 N6/0 灰白	微砂粒含む	外 回転ナデ 内 回転ナデ

表3 平成25年度発掘届出(法93条)一覧表

No.	遺跡名 種 類	届出地	工事の目的	開発面積 (㎡)	町 文 書 番 号 進 達 年 月 日	県 文 書 番 号 発 信 年 月 日	備 考
1	鵜居跡 集落跡	鵜居寺前553番2	個人住宅	186.75	太教社教第564号 平成25年4月10日	教文第1144号 平成25年4月24日	慎重工事
2	田中遺跡 集落跡	太田字八幡1004番1	個人住宅	333.84	太教社教第23号 平成25年4月18日	教文第1199号 平成25年5月2日	慎重工事
3	佐田構居跡 集落跡	東南字佐田43番17	個人住宅	144.59	太教社教第65号 平成25年5月17日	教文第1377号 平成25年5月30日	慎重工事
4	鵜居跡 集落跡	鵜居堂ノ後1258番1	個人住宅	179.77	太教社教第106号 平成25年5月27日	教文第1462号 平成25年6月13日	慎重工事
5	馬場遺跡 集落跡	馬場字樋ノ上259番10他	個人住宅	338.81	太教社教第122号 平成25年6月5日	教文第1518号 平成25年6月17日	慎重工事
6	鵜居跡 集落跡	鵜居堂ノ後1271番1	個人住宅	300.85	太教社教第130号 平成25年6月7日	教文第1557号 平成25年6月24日	慎重工事
7	馬場遺跡 集落跡	馬場字樋ノ上259番5	個人住宅	264.49	太教社教第191号 平成25年7月3日	教文第1659号 平成25年7月17日	慎重工事
8	馬場遺跡 集落跡	鵜居字八幡分927番1他12筆	宅地造成	50.0	太教社教第137-3号 平成25年8月16日	教文第1917号 平成25年8月30日	確認調査 慎重工事
9	山田遺跡 集落跡	山田字中山655番5 山田字畑田501番3	その他開発	20.70	太教社教第247号 平成25年8月27日	教文第2046号 平成25年9月24日	慎重工事
10	東保遺跡 散布地	東保字木森398番7他	個人住宅	155.05	太教社教第256号 平成25年10月1日	教文第2300号 平成25年10月8日	慎重工事
11	東保遺跡 散布地	東保字中ノ壺444番6	個人住宅	244.02	太教社教第369号 平成25年11月15日	教文第2510号 平成25年11月22日	慎重工事
12	東南遺跡 集落跡	鵜居字下河原51番4	個人住宅	127.00	太教社教第388号 平成25年12月12日	教文第2696号 平成26年1月6日	慎重工事

報告書抄録

ふりがな	へいせい25ねんど まいぞうぶんかざいちょうさねんぼう
書名	平成25年度 埋蔵文化財調査年報
副書名	— 国庫補助事業対象分 —
巻次	
シリーズ名	たいしちょうぶんかざいしりょう 太子町文化財資料
シリーズ番号	第81集
編著者名	海野浩幸
編集機関	太子町教育委員会
所在地	〒671-1592 兵庫県揖保郡太子町鶴1369-1 TEL.079-277-1017
発行年月日	西暦 2015年3月31日

遺跡名	やたべみなみいせき 矢田部南遺跡				
所在地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうやたべあざもちだ 兵庫県揖保郡太子町矢田部字糯田				
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号 34° 49' 32"	134° 35' 0"	2013・5・27 ～6・10	56.12	宅地造成
28464					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
矢田部南遺跡	集落跡	弥生・近世			

遺跡名	ばばいせき 馬場遺跡				
所在地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうとうなんあざはねだ 兵庫県揖保郡太子町馬場字樋ノ上				
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号 34° 50' 29"	134° 34' 22"	2013・6・17 ～6・24	42.25 ✓	宅地造成
28464					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
馬場遺跡	集落跡	中世・近世			

遺跡名	さだかまいあと 東南字羽子田				
所在地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうとうなんあざさだ 兵庫県揖保郡太子町東南字羽子田				
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号 34° 49' 54"	134° 35' 12"	2013・6・20 ～6・28	24.02	宅地造成
28464					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
東南字羽子田					

遺 跡 名	さだかまいあと 佐田構居跡					
所 在 地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうとうなんあざさだ 兵庫県揖保郡太子町東南字佐田					
コ ー ド	北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積 (㎡)	調 査 原 因	
市町村	遺跡番号	34° 49' 51"	134° 34' 56"	2013・6・26 ~7・5	42.14	宅地造成
28464	450230					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
佐田構居跡	集落跡	中世		近世陶磁器転用面子		

遺 跡 名	あそみなみいせき 阿曾南遺跡					
所 在 地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうあそあざかきがつぼ 兵庫県揖保郡太子町阿曾字柿ヶ坪					
コ ー ド	北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積 (㎡)	調 査 原 因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 2"	134° 33' 54"	2013・8・19 ~9・20	101.21	宅地造成
28464	450244					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
阿曾南遺跡	集落跡	中世		土師器・須恵器・輸入磁器		

遺 跡 名	しろやまいせき 城山遺跡					
所 在 地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょういかるがあざしろやままえ 兵庫県揖保郡太子町鶴字城山前					
コ ー ド	北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積 (㎡)	調 査 原 因	
市町村	遺跡番号	34° 49' 32" ✓	134° 35' 0" ✓	2013・5・27 ✓ ~6・10	56.12 ✓	宅地造成
28464	450244					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
城山遺跡	集落跡	弥生				

遺 跡 名	やたべみなみいせき 矢田部南遺跡					
所 在 地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうやたべあざおおみど 兵庫県揖保郡太子町矢田部字大見度					
コ ー ド	北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積 (㎡)	調 査 原 因	
市町村	遺跡番号	34° 49' 29"	134° 34' 58"	2013・12・5 ~12・13	28.12	宅地造成
28464	450244					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
矢田部南遺跡	集落跡	弥生・古墳・平安				

遺 跡 名	とうなんあざうしろだ 東南字後田					
所 在 地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょうとうなんあざうしろだ 兵庫県揖保郡太子町東南字後田					
コ ー ド	北 緯	東 経	調 査 期 間	調査面積 (㎡)	調 査 原 因	
市町村	遺跡番号 34° 49' 56"	134° 35' 7"	2014・2・17 ～2・28	40	宅地造成	
28464						
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
東南字後田						

平成 25 年度 埋蔵文化財調査年報

発行日 平成 27 年 3 月 31 日
発 行 太子町教育委員会
兵庫県揖保郡太子町鶴 1369-1
電話 079-277-1017
印 刷 富士高速印刷株式会社

